

明中瓦版

令和7年8月号 校長 堤 周作

小中一貫校 彩和学園
富田林市立明治池中学校



夏休みにあたって

猛暑の中、懇談にご来校いただきありがとうございました。中学時代、成長著しく心揺れる時期だからこそ、ご家庭と学校でお子様の様子を共有し、見守り、良き方向に導いていきたいものです。

さて、私が担任だった頃、懇談で生徒や保護者さんから「学力を上げるにはどうしたらいい？」と聞かれた際、語っていた事の一部を紹介します。もう20年以上前の話で、時代遅れな部分はお許しください。

〔国語〕・新聞をテレビ欄以外も読む。興味がある紙面だけでもいい。新聞は要約された文だらけ、毎日読めば、大きな力になる。朝刊の1面下の看板コラムは特に洗練されている。日本の国語教育は昔、心情理解を問うのが主流、しかし今は、資料の読み取り・作成等も重要視。これは新聞で力がつく。

・3年生は受験勉強で余裕はないが、12年生は長期休みに本を読む。国語力は全ての教科に通じる。数学や理科、英語等は、努力である程度伸びるが、複雑な問題は読解力がないと解けない。国語力がないと、いずれは伸びが止まる。地道に本を読むことは、全ての教科の力の基礎になる。

〔社会〕・歴史が苦手なら年表を、地理が苦手なら世界地図や日本地図をトイレや子ども部屋に貼る（本屋や100円ショップにも売っている）。毎日、目にとると自然に覚えらる。

・社会が苦手な人は、歴史マンガやNHK大河ドラマから入ってもいい。公民はニュースや新聞から。

〔数学〕・数学はだらだら時間をかけるより、短時間でも集中して考えて解くことが大切。わからない問題ははっきりと、先生や友だちなど、誰かに聞いて解決へ。間違っ問いは、テスト直前にも挑戦・確認する。

〔共通〕・英単語や英熟語、漢字、意味調べ、社会の用語等の暗記ものは、何度も何度も書いて覚える。覚えずにためると、後でしんどくなる。英単語は覚えていかないと授業がどんどんわからなくなるので、習ったらその日の内に覚える。忙しくて覚えるのが無理な時は、せめて週末に覚えて、ためないように努力する。

・理科や社会、英単語は、一問一答的な問題集を、寝る前に3ページずつなど決めてやる。ページの上から答えていき、間違えたら、また上からやり、完璧になるまでやり切る。間違えた問題は、チェックしておき、テスト直前に、もう一度やってみる。

・実技教科をおろそかにするな！努力したら伸びやすい。実技が苦手ならテストに力を入れる。

〔最近〕・入試は思考力や記述力が必要な問いが断然増えている。少しでも、考える・書く・粘る習慣をつける。

・英語はリスニングの比重が高くなっている。普段からリスニングの練習に慣れておき、重要視する。

〔3年〕・テスト形式の問題を、時間を計って、できる問題からやる。自信がなくてもそれなりに書く練習を積み重ねる。特に国語や数学は、時間配分の仕方て点数が左右されることが多い。

・冬に志望校が決まれば過去問や模擬テストを、時間を計り、できる問からやる練習をする。自信がなくてもそれなりに書く練習を積み重ねる。過去問で出題傾向を把握し、出やすい分野を強化する。

・入試は朝からなので、普段から早起きをして、朝9時には完璧に頭が冴えている状態を作る。

・3年生の多くは、部活引退後に本格的に受験勉強を始める。地道なタイプの人は、それより早めに始めて、アドバンテージを！

〔伸び悩み〕・努力の成果はすぐにはでない。しかし努力の積み重ねで、いずれは絶対に成果が出る。それまで諦めるな！